



新時代のスマートな 食品安全: FDA の フランク・イエナスは未来を展望する

2020 年 1 月 23 日 木曜日



GFSI は 2020 年に新しい時代に入り、私たち全員が関与しています。

私としては、GFSI が 10 年以上にわたって進化するのを見てきました。私はウォルマートの食品安全担当副社長になったすぐ後、2008 年に GFSI 理事会に参加しました。その同じ年、私は悪名高い「Walmart Letter」を開始しました。何千ものサプライヤーに GFSI 承認の認証を取得するか、当社との取引を停止するかという最終通告を出したのです。承認された認証の要件と受入れが爆発的に増加し、GFSI にとって非常にエキサイティングな期間でした。

アメリカ食品医薬品局 (FDA) に入社する 4 年前の 2014 年に理事会を辞任しましたが、私は今でもこの組織が大好きです。出席できる GFSI 会議はすべて帰省のような気がします。1 年以内に参加できるすべての食品安全サミット、シンポジウム、その他の集まりの中で、GFSI 会議はおそらく、サプライチェーンにおける食品媒介疾患を防ぐための科学と原則の適用する活動に焦点を当てた最も重要なイベントです。

私は 2020 年に出席することに特に興奮しています。今年は食品安全の歴史の重要な節目です。会議の最終プレナリーでは、私たちの過去を振り返り、未来に情報を知らせる講演を行います。

よりスマートな食品安全の新時代

私を知っている誰もが、私が自分を食品安全の未来派主義者だと考えていることを知っています。私は、ブロックチェーン、人工知能、IoT などの新しいイノベーションの価値について声を上げてきました。しかし、未来主義とは、単に予測をしたり、最新のコインを追いかけてたりすることではありません。より良い未来を形作ることなのです。

今後 10 年間で、過去 30 年に見られたよりも、多くの食品システムの変化が見られると信じています。今この瞬間に、食品の再編成、新しい生産方法の実現、食品システム全体のデジタル化がますます進んでいます。このような現代で成功するには、より現代的なアプローチが必要です。

ここ FDA では、現代のアプローチをよりスマートな食品安全の新時代と呼んでいます。2019 年 4 月にこのアプローチを発表して以来、私たちが行った開発の一部を共有することを楽しみにしています。私のプレゼンテーションは、今後の戦略的青写真についてです。技術やその他のツールを活用して、よりデジタル、追跡可能で安全な食品システムを作成する予定について説明します。また、輸入のリスクに基づいたスクリーニングツールである PREDICT システムに関する新しい情報を共有します。

最後になりましたが、文化の重要性と食品安全の人間的要素についてお話しします。私たちは世界で最善のポリシーを書くことができますが、人々が従うことができないなら、無意味です。また、資格のある専門家が企業や公衆衛生機関と協力して食品安全の問題について取り組むよう奨励する必要があります。スマートで若いチャンピオンがいますが、彼らがより良く安全なシステムを作ろうとすることは間違いありません。

明日の GFSI

過去の食品安全の発展を要約するならば、かつてないほど有意義な方法で官民セクターが協力するようになった最初の世界的な動向である GFSI を賞賛します。GFSI は、私たちの誰もが同じ上司、つまり世界の消費者のために働いていることを官民セクターに認識させました。

30 年目の夜明けに、GFSI は新しいシーズンに入ります。この組織は、デジタル化された世界に適合する食品安全ソリューションの開発に取り組んでおり、GFSI ベンチマーク要件の実装を奨励するために食品安全文化の教義を使用しています。GFSI が進化を続け、関係を保ち、食品媒介疾患に対する保護をさらに加速する役割を果たすと期待しています。

FDAと同様に、GFSIはよりスマートな食品安全の新時代を迎えています。シアトルで開催されるGFSI会議に参加して、新時代のさきがけとなってください。



この投稿は次の人によって執筆され、寄稿されました

アメリカ食品医薬品局
食品政策・対応副委員
フランク・イエナス